

県内商材を集めてコロナ禍から反転攻勢 ～アリオ橋本で販売イベントを実施～

一般社団法人
富士地域商社

春先からコロナの感染拡大が落ち着いたことから、4月13日(水)～18日(月)に一般社団法人富士地域商社(新海一男代表理事)はFM FUJIと共同で神奈川県相模原市の「アリオ橋本・イトーヨーカドー橋本店」で山梨フェアを主催。山梨県酒造協同組合の「山梨の山の酒純米飲み比べ7本セット」の他、山梨県パン協同組合のコーナーポケット、山梨県菓子工業組合の八雲製菓の商品に加え、美味しい甲斐開発事業で商品開発したプチプラム、フジベリー研究会、佐藤農園、アミナチュール、アルプスベリー、青木農園の地域資源を活用した商品が展示・販売された。

富士地域商社では、これまで県内の様々な商材のブラッシュアップや域外への販売を支援してきたが、コロナ禍により活動停滞を余儀なくされていた。しかし、2年ぶりの出店となる今回は、各社が自慢の商品や新たな開発商品のテストマーケティングを行うことができる絶好の機会となった。



4月16日(土)には、アリオ橋本からの公開生放送を実施。タレントの上月せれなさんとお笑い芸人のタイムマシーン3号をゲストにトークやミニライブで会場を盛り上げ、売上の増大に貢献した。

地域商社とは、「農産品、工芸品など地域に眠る魅力ある商品やサービスの販路を、生産者に代わって新たに開拓し、1円でも高く生産者から商品を買取れるよう、市場から従来以上の収益を引き出す役割を担い」「魅力ある地域の商材に即してマーケティング・販路開拓を行い、その収益と市場の生の声を生産者にフィードバックする。その後段階を追って、他地域との連携、観光等異分野との連携なども進め、域外から投資を呼び込めるようなビジネスモデルをプロデュースし、地域の事業インフラ整備にも貢献する」組織として内閣府まち・ひと・しごと創生本部が定義している。

富士地域商社では、今年度は積極的な域外展開を考えており、県内の地域資源を活用した新たな開発商品の登録を募集している。そして、引き続きアリオ橋本への出店販売を中心にマーケティング・販路開拓を積極的に展開していく予定である。

